

いたずら遊び ちょっと オモシロ

野党の転換・破くことも、踏んずけることも出事ないような、そんなピラは捨てちゃ 破られ、踏んすけられ、しょせ人最後は若てられて三の中…・よし、そこで よう! すべてを逆手にとった。 終わりからの始まり、だ。 街頭できてまかれるじろの電話なくていしいもの…。 読まればに打られ

み絵のオブダはらまき共同行動)の日にあて、正日早々めでたいへちょっとオモシロいにならむど しいと思いながらも絶えず支えてきと私をのへ天と思と試すと、の2つ。 A級戦犯大量にロビ上を〈暗み暗みの冊〉に空し、の「天皇前」そのものを、じ、かおか として辞生。目的は、の戦前は現人神・戦後は易飲として、今なお日本に生き残っている ・一氏をZVDA (これてて、え・ケイレクトラクランの種類の)と名付け、80年六日を八生国一各語 この暗み粒とうは、そういう光空の元に、天皇を風的するためのパロディー〈オフグ〉〉

アナキズムとナスペラントー。などの自己など4ヶ所を 「詩人・近名に『小詩集・ピラについて・』、『山屋東治~ 府警は「神能者不辞」として、何井冬 去る2月2日午後2年20六、大阪 と禁しもうと……とうが……

事件に関する報道をモミ消してくるだろう ってるはず…・マスコミは、おそらくの けど、もしかし日ち……。 ▼さて、今頃はもつ街中にピラが散らは

思fta、「御名御堂偽造」被疑?

多考一冊五十一九四条一

うに見せかけてきつ目的で…… 角起し 七有は二年以上の有明世段」

天皇や日本の名や甲を「田人もののよ

**捜索理由がな人と、時代錯誤もええとこの、〈戦前〉を** 

大阪が就発行の今状を持って一斉に家宅捜索!

へ組み起じランやそのだ、多数押収した!

注目とお力添えをの 御名即量 俱來部

り合せん。ぜひ、この条件をあなにもあらゆるところで宣 伝して下さい。 どんどん知らせて欲しい! たいないす。 ▼こんな、ステキで面白い話を人に言わへんな人でも、

以及ぶりの形とはオミカト・こ ものの性に立たるはつき同だと あつまる被数もものもせ 火の中に放ったを天体でか 見いであるでかきあつめ にぎりつい はおするかを見るたいな ▼ ていがかとが 寺の私内で、よう これでは異なりえんだがいいめい したせの後で、まるただとるな

都名何里俱彩部二五一人 - 45 6

御名御堂偽造

こじつけ事件

用らかに国内のごめのパロデー

現城を一見して分かるように

の真相…

(益)

四页多别

195 衛名馬雪俱乗部ニュース 2号表面

御名御野俱樂部三十人2号 夏面

け、何が何でもNVDA=<全菌一各路み絵のオフダばら られることだ。とにかく「御名面要偽造」を受引にこじつ は一体何なのか?一枝らの形れているとは…? まざ、共同行動)を代めてせようとした。予防疾免的各前単 だとおれば、今回のガサ入れの本当の目的 それはズバリ、全国の追跡にへ踏み続ピランがへ捨て、

プロ報いる言論で表現は一切ゆるでいない。」第の「天皇前」 思であるはるのこの日本で、今なお、 戦前の不即罪「天全主 保障する憲法の諸条に遺長るはかってなく、民主主義 とは投写るものであり、思想・信仰・言論・表現の自由と ▼ この強圧は、パロディによる子母的を現、創造の活動

も人だ! / 天皇のネウチがケウンこと及れ後の年ぐらいやったら それにしても、今北そのものがよくもまる発行された とてもこんな今状ようまさんかとでる。

そのものが、直線と生き続けている。とと如臭に長りして

る日のに、様々な形でん々に訴え かけています。ありせて、この書 あらゆる遺標行為に対して抗議す する裁判所で大阪府をのとった、 ▼今、私にちは、この事件に対

りにし、欠にやってくる時代がどういう質のものか、を暗 では近こっとつけ事件は、現在の日本の本当の容を対す。影 示しているす。つか日本の風熱に一矢を投じるのには格好 の材料・めなにか、一の男件と大々的に利用しない子はあ とも大切な運動だと考えます。いつなれば、この「知名物 件の不当性を世間に広めていくこ それ多くも数十の土足によって、じゅうりんざれるのを退拢しま 便竹)ほかニヶ町において、「即名即見ならびに倒要形」か、お にオシッコひっかけられてたる。めでたいこっちゃ。(ち日付) まーほんとにウソのようなガサ入れ。あのおフタ、ウナの大 water to be the property of the see and the see a see a

卸名御重事件が語りはどめた一時第7真相

フンイキのお正月となります。へこれでへ遊び代十円〉とは、ほ とはスゴイ・までにスリルとサスペンス、いよいよ楽しい楽しい み「息報」で来。「おもしろ遊び」に大逆不敬さんきでかなかり

一月一日はヤリマスよ。心ウキウキ、作動をなっています。

(2月30日行 A)

985.1.10 1985.

14年から中の中のおってい

三日が人出最高なのに、称うされずにやってしまった。(C) お何)自な。神社(四ヵ竹─大〇八幡、○国神社など)自な。

通りは、ドサッとあった方がよかったみたいで、数が不足。 The state of the s

★ /日午だる時別分散を・駅間辺三百枚、中央通りへ繁

でも時効かり年と長

〇連アーケードから駅前広場へついでに公衆 時5分の間、〇宮神社を道、さらに御 本 報告。元旦午後10時20分~11

(2月付)

でに分だけ、今、少し気抜け・

似中からの通信になるはず

大阴前阿即甲 医阳町 1-6

なんていう ボユリが、うめさが、あたり一面たちこめるのに 「不敬野がちゃんと残ってたんがなアー」 出して、ホレッとひろげてみせる。なんせちをうなものやから出 「たいへんがんし こくえし 「ナニナニア」 「この平和な時代やと思てるのかしそんな思しい」 「予防隊先出来るように刑をかえて称ってるんか」 してうたとたん。「戦兢の不敬罪といっしょやないか」 知名何を内容という。なんやらホコリをかぶったものをひっぱり 文日いいかかりというのが家宅捜索の理田のコト そういうのに変ないいかかりをつけるのはケンカラント なオハコ、ひと吐きう笑いのオミンやないか! とうれ、ドロディなんてものはそもそも、たら、かい馬の大好き というてたと雨いた。 ある年配の人も、昔はよう川神なんかであったのと同じわないか 最初、なんでこんなのに? とあいたロが小さからなか、た。 御名が西島造で安全模なに! 天ちゃんの空南を削りこんだパロディのかかだーといか、

ん大きな味りもの入りで、なごつがふみ込むのなら、何かホコリ 不明故なことが・・・・というのもなさつが存件やしというたとた

後は即から回へ取り去らめーー 向をなかったように とつすると、そうつなどの発圧はし、かりとしといて、 道の方がし~しんと、しずきりかえっていろではナイカ、 いつもと違う、ナニロボケレい? の一つも出るにきいないと大さいがするマスコミ、新用などの報 天ちゃんのことだから、さいらぬ神にたたりなしということか?

1-1307 前月芳方

Dec:84

分かまわない、と思う・シょろしく。

山通信

と心配・へ但し一月四日以降なら、どうでも宣佐し話題にしてもらつても、多

▼ 全年はイヴを忘年会を全くやめて3日夜まで大車場で動き続けたのでつよ

ひかえて下さい。ぼくからもどうか、お願いします。切角、ぼくを苦んで送っ

てくれた好意に、ぼくの恣意的なイズム技者の転送が、そむくことになっては

着くようにと、出す。但し、同式のるのは、後述のように、送付者から、前更

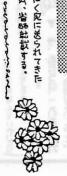
この号、動便の複楽でおくれる見込みをあるが、できればは月引日までに

助行の特記があるので、共同行動 申し合せ時间前は、公用中公差などを、必ず

市

こんな、ちょうとがもしろい「いたずらむひ」ひとりじめにはでけへんので… 平低とい包が、どとからか、送られてきた。で…いくらしんどいといっても と決心した。とたんに、このイズム特別号を、どうしても出したくなるような うしからからはちうとんなまるしばやんび、一切合財 枝り出して何んにもせんとと

まず、ぼく見に送られてきた その手供、省略就散する。



踏みぬのオス

ませんがし、古受取り頂いて国封の際に、心ずへお手数で も)次の順序をお踏み下さい。 お送りしました。へ決して小で残酒のようなものではあり 冠着・とっぜんで失れします・この手紙と同時に小包を

も本材でもしに、棒げます、次に、 1. 封のまませの川包を、神棚へかいときは、アダナで

だかよく全身をアルコトルできよめます。その上で、 3 次の「根却」をあげて下さい。 2 柳福间を供えへずぐお下がりをにゆくまでの人でし 一種びむをてあて、最かにし

一百二年 おんあばきゃっへっ ひろひとかみかみ きかほだら やにかりあり。

> こではくらと、生質と南直してついついじロヒトさんな れてるへ家数くさんを、つい思い起させられる仕垣にそ ピラ」のつもりでした。が…で承知のように新年とい 日用の、いささかパロデイめかしたあいさつとしてので 思い出したわけでした。 ノー一家の自長が現われて、国民きがふだんずっかりだ うとし『元旦の新聞など、必ず宮内元質下げの、テン もっともこの「オフダ」ーそもそもの奏在は、か正

ます。〈宏語〉留の意味は、広群花にありー 一へ象数〉さんは、へ震誤留〉とオッタにか、れてい

reparement

どのようなピラモ、その管国による性格べというが進命 つたしゆん向しつまり配布されて人手に渡ったとたん、 ところで、ピラは、ピラとしてのその役割し言味を持

しか若てられるこという、さびしくはかない色命の下に避 あってり女之ば、人手に移ったとたん、『ピラは、いつ



い更多品

泥でにじる。場句はオフダか、はたゴミか! のかにまりを切るに、後氏の足がけちらし、踏つけ、

ベンチの上に、置きていれる。 パスドで、プラットボームで、かと落とす。待合室や公里 ● 倒之ば、一枚ずつが年玉袋に入れる。歩きで、随福で

曹卓でくなると どんどん落して、走り去る。 いろんがととにどさつとへのなるはなまとめていあっさ 云る。(見がゆきとばしてくれる)車で有数車でオートバイで ともかく一枚一枚手優したりするのではなく、公かば 例をは、ピルの屋上の境をの上に知なほど置いて立ち

り与ててくればよい・

生神ずるところに、オフダのありがたいきばかあるので なんてリクツをおうのは、ヤボなくとし あとは母となれずことなれ、すべて神味のおぼしめしと へ一気付かずにうつかり路んだりするのは意味がない

さて、いさかか前置き的語界が長くなりましたが、 举

配頂きますらう、どうか異々も、あねかい由も上げます 校在中ン、この手伝の記旨にもとづいて、よろしくとあ ダばらかき共同行動しをやりたいと思います。 こういう次才で、みなさんのお力はををいたいいて、東 る一月一日元且を期して、へ全口一せい、踏み役のオフ とつぜん、お送りしました小でのものへわ気なく九千

へ これやての ビラの合は 短かければ ・路み後・となりて ちのむすまで・

たいなから、 南封ねがいます。 「致対の円程収型なるのが指出の効特によるもgtsリー 4 おもむろに、い包を抽個サらおろし、次の数詞を ー それ、天相はあの村々が、からに関うあられましたー

べ あるのか ないのか 天皇教 それも 部らん いちいいねの 首介が信言か くたびれはてて 正体不明の 天皇教 あらにまの 六十五十 天皇教 そうでないか 試めしとて

路み役 踏むてそ 信心はかる personal and and and and サノ ヨイヨイ パロメーター 日出たけれ

かの はじめの

ゆめのめ「ビラーではありません! たちまちへ天皇教、路み役のスフダンとなりました。 に独切れか、アリガタイポフザになって、売れるように 纸切れは、へ あの明治神宮社務的で、四角い判コを振し ハイ、この「指魂の儀式」で、一見、ビラと見まがう

てと、かくの如しと知れし 一世が身もの動権は、ます形式より入りて、神に及び

すので、改めて理解を得にく、あえて言及しておきます。 の意図に反します。又、その相談は花めて直大と思惟しま と早合臭されて、ビラ茧みに配布されると、切合、当方 でも領をしましたが、)一見・コピラ」に見紛れやすく、ピラ さて、このようにしていま、あなたの学にあ る「大フダ」はへてきの大きに一日作へ及註を立

> なってしまうこなんて、それをどうしてもさけられないな 味をもつ日とたん、もう谷てられることはからないるのに り前のことにとたるます。 生きのびて…と思い、ねがうのは、ピラの作り手として当 生活素?十万円をかけてつくつにピラが、ピラとしての意 んて…。とずれば、捨てられるとしても、すかでも多く けがたく思かれてしまう、といえるでしようか。 ぜつかく、精福之めて?その上ぼくにとっては数か月の

なく、「終りを始まりに」して何か一工夫はないものかと 殿あらたかな即神托ーかくして「踏み絵のオフダレ鉱生と いうことにないました。 ーそとはそれの苦しいときの神類みず!の甲斐あつて、豆 て「あっさり存ててもらいましょう。それで一巻の終りで そとで、どうせ捨てられるのはら、はじめから前き直つ consensors

ら下げたり、配ったりは、尚茶です。それと共同行動日

なんて・・・)へオフダはか正月を見む人下、それとそ?十万世和で日

▼ 個し、オフダをピラのように、唇をに貼ったり、が

時前、つまり生内は月ガ・30・31日へ午かり時までした

人でもどうしても、まず何よりもか 一に、あってり捨ててもらわねば、オブダの役が勤まら だから、この「大フダ」、何がな

んがけてもらわねばなりません。 あがたものがれられませんン全員に、ともかくはつきり路 ▼ 踏み役である以上・天自殺信仰の校配者へでちろん

みに、あの手との手で置いてまわるしという手…・ にぞうぞろばれ出てくる・神社やナントカた場とかの人で ていく以外ありません。つまり被設者の立思り先さ、とく ムリヤリ路ませるわりにもいかぬ以上、こちらから出かけ ▼ といって借力をも巨の有数さ、みんなを頂えてきて

枝はかりとりだして、そのま、足計へいサツと路とす。そ その人でみの列の中で、そっとボケットからオフダを石 例之ば、日本金□数4万人が出かけるという初話で

F. るり方は1月3日午后以時までに、お手許のオフダはす 年1月1日正午までを本命とし、その時間帯に勤合り かあっても、かとっておもしろい。象後さんがゴミの中 超当にあやいべさい人ゴミ祖にどさつと投げてまれるの 山小屋でもへ夏になっての踏み段で一向かないません) も、又旅行中の経路のところところや、冬は人気のない べてへ捨て〉て下さい、 場所は、自宅近所に集中しても、あちくう出歩いて

▼ 其同行動の日時は 科生心目引日午右口時以降、85

ねかいしておきます。

先きがけての、申し合せ意反は、抱対しないように が おん

ては、どうかよいが年を、

Į

そだが、サつかり死合のへとし (一枚きりしみはらってないないのかをのかき、シャパのなは毛許にの の知旨にそって、あなには、捨ててもらう為に、 ケのがすそわけを、本号に同封しました。もちろん手板 れてきた牧気のうちから、ほんのちょうびりずつ、あつ 以上、手供の車自転載でかかりのように、ぼくに送ら

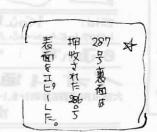
みをという仏を、ぼくが仲介とりつぎます。 生ってもなっていくないは、全田町わせは水からのではなってっていかかれるも見とから すかあり、ほはっなるながいれていったれてきた。かたなかはく見つかしま ○人稱註 25年去以前に中一行(1月天)以行首在後は見ると日本日 ▼ 我表明玄肉のマットの下に足いて、出入りのたびにぬめたと したいというす、オフタを作せてアンハの意味も含めて甲込 あい、くれびれたりさめつるなり、よいの正月を

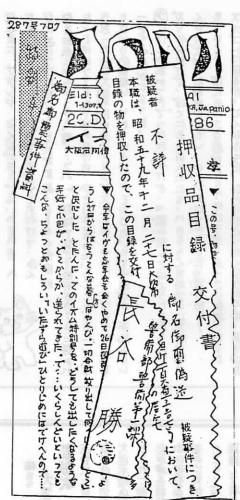


1

註 34頁多點









## りつはその日

-6. Asahimaci, Abeno, OSTIKA

**版市阿倍野区加町** 

とばかりの取扱い・それでいよいよ大モシロのいたすら遊びが、本物らしい

う思ったのが大世界敬サンヘケリコで大化しのその上にしスワス下の一大事

た。とはいうてもたいそれだけの、ひとり芝居みたいなことなのにし、ど

都道府県にひろがって「捨てられ」、初指でなどで数百万のう足に踏まれ

なに送りつけただけでしそれがまあ、ともかく全国の

ちょうびりかもしろ、いたずら遊びくと名付けて、みん ほんまに ナアンヤ・こんなピラーぐらいのそのを へ

猫とち

向井

左

① エライ あさわがせ・へといって、ぼくがしたのは

② ほんの思いつきてつけにんやけど、日路み念らとはようなうにもんや。 がりのおかげで、ぼくにも、あんたにも、へちちろん否だなしに大き不称さ つのまにか、なっていた。さてこれからは……。 許すか、許さぬか、いわはいまの体制の情况を削るへ象後的踏み徐〉にい オオゴトになるか。どんなふうに ひとりひとりみんなが思うか。あそびを もうひとつ、ほんの川さな遊びごころのピラが、あつこり無視されるか んや今状出した数判官にもン、いないよはつきりしたの路み後は! 一そうの遊びになった。

③ 一日一日すぎたら、何とかインネンつけて、まずかけが…との%ぐらいの率で予想してたら、何と油断大敵、12月 を与える物証はとられなかったと思う。ぼく自身については、イズム脳がすべてを公表してるわけっ **刈日午后に中ってきた。掃除かまだすこしのこっていたかだけ、もっていかれたが、ぼくの判断では、ぼく以外に余改** 

(5)28日 もってかれたモノへすべて印刷物ばかり)の」

ど、それはまた…し。ついでッか このごろ、枕許に フロシキ包みが置いてあるわけ

つくりのエピソードがあるけ はオモシロイかっ切いてび

はだれが情報を流した?と

せんさくする気になったがん

み公じうしが注目される、宣仏の

サへの声明・みにいなさんをかねて、地哉、及び府警人

何このがけてかえつて在間にっ路

対をナンテあり

のおでかり

8

フダについて で作製・ハス まず、へ資料ン用に、各たり

定はあっても発 影响口的内的品 てへ本来、大般

えないからし最初

(益) **野東京** 

> 定の猫、よう 見さすが、あ ありて、びつ おすナアムと 仕込んであり らと相交数し するなど、彼 は頭上に作士 料路して有け 8年2月2日 麦彰状 とまり、時に けより、夜で が日本である 中の捜査員の 家屯樓查執行 サスれに際し 大进不敬のガ あなたすは

向井寿同居人 チビロどのる アンかいどのいま ハイなどので

物のアラをを

ると共に、切

表彰状を掲げ

よってころだ ました。 を輝かせられ

世景します。

九公年七月七日

せずい複な見

くり、手も出

60

称々たる事の

なしという 外・全く処置 つてもらう以 な氏に抱き取 はお声をあげ

て、たい向井

早すぎたけど、ようこんなくとで エエキッカケにもなる。 ちょっと ーそれもり何名御雪いなんて有難 い名っけて来てくれて「ほんまに 扎ないたいワーというた 感心しながら、クマシ そくなきえもあるん らへ接を負のポスは ですなア・とエライ

● ガサ終了午后四時。 ぼんできたしというわけ。 れからやと後の対策がずらっと のように思えて、ようし、ざある そうやったし、一やんにそ

> おのせい? 通信の発送・その後、抗試・の発送作業。〇月君、南 大阪記者クラブへ資料を持多、説明。反応微妙、見から さざか明金しなからの印刷。像前日出来上ったハラハラ んて、絶好のアピール標的、数えてくれに威敵政調でい の「抗戦」アピール女つくり・ーギョメイギョジ偽造な

6 2日、抗議・参考資料こして全口へ発送。午后 デモ・阪多前ほかへ、ふうさんら出動・ も助かりますがなアーコ四時からへ大森デーンピラまき にもタイホ必至、せのて三日すぎに来てくれたら、ぼく 護士事務所へ。ハラ甲・サヤーはく、日君、かくれてふうし「年内 **地粒へ。**御甲伽ので財門・記者室もカラというので、针

とのこと、何より安心。

→ 準抗告申立て書つくり。住矣は、進宴の今状発行と オム読者とあり世発送先物 - 以上30日 話、週刊紙、有椒知名人を抄出しての、発送名法つくり。 イ ム町を版下つくり。年位、人名云より新内テレビ、強 の遊は住へてれば今に現むされたてとがなくがなしろい内をして人力 とくにるりろさんの立合人立合いに関する、執行手続き 足・ニュースカー号をピラとして出すことになる。 りなどの話合いミーティング・梅名句聖母楽部、発 動の方針、一のタイホに対する政境と反撃態勢つく 八時より、今夜の見通し、事件の拡大宣伝にむけての活 このガサ入れを可知名和聖事件」と呼ぶるとにし、夜

日かば

中金で

き出して、

すぐ「賢急報告」をか

国曹昭,

げ関合せをかわたも年会に出て、 の、前からきまってた、最終打あ

8 3日 李抗告申五首〈安の時事〉大阪世教へ提出、イ 名云により全口へ発送。投西見了 肝後の時5分 すか?こじつけて御名御里偽も」事件」印刷・イオム 大公野号印刷、荷名和整月楽部発行ピラ「知つてま ピラ、抗議、7路み谷ピラ」を一括日封、昨日末作製

終アと投函、午前四時へ張 間一覧! ヤフE。-発送作業 の仕上げと印刷。思えば、ほんまに 约三時間半、10時から再び、報告

込み、尾行あり

や(中段左端より)

年質状変し、封同约30通祭 ・(当分の日処理主義) 来

就者

応持

・午後

三時

・とつぜん

・〇〇を

教歩

・夜 ◎ 8年1月1日・張り込み正面口(交替の為か) 散步、约30分!。午前4時就寝,起床10時、電話、 車動き出し立去る。午前2時、私信投画のたの出かけて

10 2日 電話十数信。例年 **粒優センターに電話レモが、どこからも配補ニユースなし** 正月料理持参でやつてきて、にぎやかな新年交散の西路? も通知しなかつた。のに誰役が ての日集るのだが、今年は誰に

となどいろいろだるさせられる。へかいうさんが、しがみつくように、 単なるドキュメントや事件物を起えた新いのの文学ン教後のこ 1 3日 平信、平質数十通、来診(今日とえばり4人)・ 一心、よんでる)。張り込み、尾行、いなくなつに? イ・(ともかく、せひ一説を、山田悦子さんの。甲山事件、をかいてるのだが、 松下竜一さんの「記憶の樹」(文芸の月)、一気に読ア・スプ 待ってるのに来ないので、弦合いぬけで、どうとくたびれ。

◎ 6日 附なるの・コシの会出席のなるとなるとう夜半よ ご期待(あなになしかも送って))(いっとうなるかっていいますか (2) 4日·In日 ヶ日廣、大阪地教 司法配有室で記者会見 リイズム級版下つくり 和町で、次回発行(10目頃) 御名印監俱楽部ニュースで報子。 乞 ワク、ヒヤヒヤ、ニヤニヤ、なかにはびいつて火谷の町、 とうもすんませんど。踏み给めさまざま万華後へをえない 政か、はつきりしない・思からみのせい? アカン・ ところが記者室当番幹事、すでに事件をしつてるりに何 を設定すべく、資料へ準抗告申五の要旨と印刷 各世からの連絡しきり・みんなスゴイ。ききながらワク

18. Mar. 290

御名御恵・路み公じラ事件

はであり、取消しを免れない…!」 づきなされた本件差押処分もまたは 遺伝であり、この遺伝な許可状に基 「一枝多神收許可状を発布したのは

## ウッソー・ホントー・ヤッター

差押之押收は虚法・取消し

からの奴押によるとテレビでも流されたというから、一応全口的 毎日、読売・日経、その世共同通信で地が低へ細戸など)を報道 アニュースになったらしい。 されてなかにはいかんじラの写真人りでし、東海、女魔を面装者 Φ 進抗告受足は、男外-3月9日付でおしらせしたか、朝日

Mのでであった。 「とりには行かめ」とぶえると、4日1時頃 返却したいのでは日午前1時、同情野岩まできて頂きたいと電 ているのを別にすれば少、添美というべく、そのほりでは文句は そのまを承担しており、いまてのどろの社会状況からいえば、ひ くてすが、とわざわざハゼカツ代理を発調して、押収品全部を しろピックリするほどの、へ芸伝、選及の史については判断を受け ○ 大世不松、警備一課ハセカッちゃんの代理、打松となうと ② この「安定」は、ぼくの学校告の内容・意言を、ほとんど

ということで、伊牧に関する町かは、これで落着!

また電話で、「ど在宅なら、10分以内に相な品を持なします」…

る、出すなら井枝子が由立をつくるということになり、はくはそ みてないので、ほくの「申五ての理由」を、かいておく。 とになった。氏に、2日に提出後のはずだが、そのコピーをきだ の原来をかいて、それを出来るだけ取り入れてもらう、というこ

## 申立の理由

するのが相当であるよーは、製法が希告をである。 なく、独立して許可状発布の取消を取のることは許されないと観 見了し巨後にあいては、ちはや許可状の発布自体に取消す製益日 見れないいっさらに、『硬に押南差押処分がなされ、その手続が の部分に由しての)不服を申立てる部分は、不適因として養知る 物はな人ら押吹されていないから、申立人は行ろ申立のうちへそ 務析と見室に子室のことしては、捜索が実施されたのみで、社校 一。原料改一句:別的法は、司法等長な員のした「神故に関する 二、日本件においては、別仏」2及び4京町の場所へ地町のウリ事 については、不服由立を許していない…」は出例は一支である。 処分しについて、その町清又で変更の諸子を許しているが、複名 れえない。

取申立の権利も当金会のられると関することによって、本件の如 古の対断様が裁判前に与るられているとき、その判断に対する不 の製造的気は、コー正当な理由に差いて発せられた今状がなけれ きケースは、数近な様・住屋子り後の製質が保証される。 は、「適流な今状」の韓に彼ならない。而して今状の歯伝・不恵一あることによっても、取扱しを見れないのである。 ばー」という条件を付して、住居不可侵を明初しているが、これ

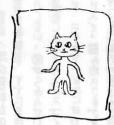
当現在くへ一行?お目見得のせつは、何とをあ引きまわしのほどを! 息っく向るなく、こんどは「万日タコマキ団」と紹うっての、全国とてへても声がか なく、如の会の活動・飲気をつくり出し、デモや集会にも反映して、一三月になっても なもうごく量化に、近いたり大ったり返日けん命になった。それか、石名を成日けて 会では、それてき追いとかの一月・二月、目標をきめてあとれる。もう三百と、みん とうか、イオム挽着のみなさんたのみますへおからるりいるかなかいろくで かれば死んでいっての、致政気を大巡末、へばくばもっぱられる最後になる者とど へ定め送天五00円・平夜∪如円。頂き、大阪――ミニセミセ・ヴリジャパン)(19.8) かう子さんは4日一切日、北海道へ大系名の公共務範と集会を加)、一部中中。 パンフス来、ヘハカリー合仏デモンは前?を売中・美理と人情のナントカで



で何人かい動くうち、その意気にほどてれてどくだん活動する人かかえ、大阪の虹の

台にありがとう。はじめ、とても一方はことか、岩名でどうなるねんとかいうちの中

大道寺・片田両君を矢刑にするな!一万人署名は、成にき成した。松力とうも本



(左首中段左端より)

こしつけを同は明らかであり、電法は我意及の行為にるくとは見 | はまさにミエミエというべく、その双の「不敬罪」的 刑法総条の の一合基礎の下に、天皇の特権的対位を強大化しようとする意図 か。いまなか今のに近付する一天皇を頂上とした前庭差別様で として、しゃにひにあえて今状を請求し、かつ発布した復国は何 名の意命から、文学的を理としてのパロデイにすべないものであ と古いえないにもかいわらず。あみなピラが刑法明末に該当する 一般を) 内長へ宣伝車首権権の施務ンの進及である。 って、もちろん耐伝は糸に該当しないことは明らかである。 通常人をして物名物型と提信させる可能性をなく、あるそ何は 原決足が今状を古法と判示するごとく、本件始め投してのか

客である・ 前のラび帝東的確正であって、窓間かれ、刘森に対する東大学を ことは、こと天皇に困する言語や表見は一切持てないとする、数 智や 司法なる祭をあらば、憲法が未に進及するといわればならな さらに又、踏み始ピラ教布所に、その存物を許可し又押較した その故に本件令状の語を、女は、及びその動行に関係した数数

よって、本件今状で雲伝は京、「門系、江美、江系、江系、門系建及で

これは最古なへのイヤ味位のるんである。 フさり口料料いまらかいない。だからせて かだめからうだっとロ~ってるが、三. は、ま (は) かっちなまなかしなんとかを

社のドアーなとにも貼られ、宮内庁、外務省をあわてさせた。そ ッカーハ種つくった・へこれは海外にも送られ、日本大便館や前 A級戦紀·アジア人民五七を取りつの孫本人-レな々の小型ステ の記録は、ウリ発行へ直接行動3号〉に掲載している)。そのと て、やはりガサかさた きは、「氏名不祥の軽犯罪法と寂を授入罪の共禄」という名目 10年前、ヒロヒト前位が年に際して、てこの競かたらの台

してきていることが、新南の吸いや記事の言きかできる。 やテレビニュースで報道され、朝日などはつ不敬罪がいまき!」 た。それとはべると、この10年間に、世の中がおどろくほど一変 と見出しにかき、NHKはステッカーハ程を型面に大きくうっし このときのガサ、津抗告(春平)特別抗合は、その都及、記事

と、けぶりにも飲みとれぬものだった。 れた同の見台、10年前の「不松罪いまむ」といった所での円行な 刊でのせるというしまつ、記事はいずれを音や経過をあってりふ にしたちのの他伝がいずれる大きく取上げてるので、アワテテタ っては、伝視するわけにいかず八朝日などそれでも朝刊ではポン 数刑財政はいのてという加名の歌佐追刑法明命を民取的し、とあ うまったと思う) さすがに「連れ告決党」は、内容の明代さと 年低で名正をつくり子造らい、通信を数反出したので、多少はひ 話やミニコミへ数とて幻存もしがいろいろとりあげてくれ、又、 して一せいには歌!へてもはまて、婦民・人民その他・機関鉄 古件が年末年始だったこともあるが、大ヤスコミはどれる無視 しての同様、茶は、味が立てとになり、その修正、回夜の方法

になるか。これをひとうの「踏み捨」といえる。 ほい間違いない。それをを表しいまた。ぼくらせどうないこと う一時代の刺印を打った記録として「別例集」によのこることで □ ともかく この連戒告決定・いう人な意味で脳和の年とい

## 器高裁りは 特別成法を出した。

ロクサイモノにフタで、最高数の結論をそのまま引のばして学与 いう心配もあって、気法者及で特別抗告を出せのが気力。ほく だとする何なら、いまはっきりさせるながよい、という主義。后 | 写道なな意心の自由) 引来へ集会、坊土、志观の自由、過信の 弁護士は、切角の決定が、最高数でひっくりかもっては……と

◎ せるせも甲立人にとつて、博布を押令状発布は、その技事氏に らず)、不服日土かできず、日に夜水のカリ教教を甘気でればな ある。 とでうが、 捜をが行われた活果、 神板物がない場合へつ むいめて知りうるものであって、それ以前に連抗告によって、そ られならば、鬼は五条は形骸化して無きにひとしい。 まり一そうその今状を布の商と古か向われるでならないにもかかわ の正否の判的中執行停止を求めることは、実際上絶対に不可能で

よる情報の条格、そしてイヤカラな世あどしを目的として極めて からのに住居に侵入する複型不侵か、通常にしついある。 を目的とせず、何之ばカメラによる虚治指数、目現現数メモぞに は存在当局が、さわめて安暑に今状気布を請求し、しばしば担以 のみならず、本件原因党の解釈が発用する故に、すてに現実で

すらもくっかでるといわなにはらない。 れば、気圧む年のみでなく、安法が高く場です「基本的人な」 このような今状の遺伝的重用に対して、不順申立びてきぬとす

○ 原校足は ロー・そはや許可状の発布自体に取消す実際はなくら とあるが、そうであろうか。

を移転して向かなく、近路との交際かはじまったばかりの時期に て、む無」住着不可快を保配するるのである。 安を現金をうけたくとによって、犯罪に関係ある近より焼い看と さらに本件申立人向日の個人事情についてなるは、向升は住長 その取得しは、何よりも恋意的な住居代入に対する曲上のとし

か田覧という、人権任要が発生している。 立為を知得させるための、有力な確認し実動となることは言を使 今状の発布に対する法的な「取消し」次定は、事情を明らかにし これらの起目か今状祭布にあることが否定しかたい以上、左件

れるものであり、本件にかける遺伝な今状は「取得す」との使見 る全般を記合する意味をもつるのとして、製造が茶に配して解さ か至当である。へつ、最高数量知路年了月的日大西北江是におする 看伊皇の判別をるについて日午枝まからくので、ほくに省時し 一の「関する」は、今状の発布から選付までの一連の行為に用す 以上にのべた処によって、刑部法切寺一押政物の場付に向する

のものが記点は糸(法の下の日子、古夜の赤上、焼臭) 月条( 11、本外にあける「今状の枝をしならびに「今状の表布しせ

4月冬野

曲

刑法一六四条について 最高裁判事へになったときの見解

その上に存在するそのであり、日本口と大量とは同格性を有していた。 有しているとおいのられる。旧字思法下にあいて天皇は皇を伝のない しかるに理るか法にかいては、天皇の権間は大きに初降され、口 と併記してすることいる意味は、明治憲法にその確然を 「国政に関する行為」を有しないとされるのであるなれば、和法 良の形式を移としての「日事」に関する行為」のみを有し、 四系が初雲と国愛を同格に併記し、同州の保護分段とて いることは虚し思といわかるを得ない。 以来が物型の信道・不正使用を日本回の印画型

件は、それが単なるパロデイとしての表現行為である。口 そのそのを得るする目的」と限定的に向すかまとなり、本 かできるとしても、その行使の目的」とはっている国事行為 事行ちとは無様であり、心希に該当するものではをSo 回 為聖偽造、不正使用罪を合か思に解釈するか

偽造罪について

● 偽造とは「敬めて外観の類似しにものを製造す 現富を法が採用する罪刑法定主教の原則に既らしても 高雪の一根を」をつ為きしとコシッケで明することは とを見して、そ、程度に達しないるのは「横走」である。 「傷き」に対する判例にかる通り、その了傷き」は「風物人を てきない。 して、直定のモノだと設信させるに足る程度のそのである るととしてある。列法州赤八重貨偽造罪)にあける、

た為聖は、とうてい了通常人をして直江の御園だと あるっとつて本件は刑法は茶に全く該当しないとうえ 方をすればってきしとなうにも値いしないことは明らかで されにものであるてと、ピラ全体から受ける印象、そを 親信させる程度しのものではなく、その大きさ、色の される「衛名物盟戦事の踏み後ピラ」にのめてれ 日 不件の対比となる「天皇路の路かる刑」に便前